



定員
24名

シリーズ 最期まで“自分らしく生きる”ということ 施設と病院と自宅と…それぞれの限界と可能性を考える



亡くなる4日前の母と娘。
寄り添うことがケアの主役となる看取りまでの日々は
認知症によって失った絆を取り戻す大切な時間となった。

■ 第一部 家族介護経験者の目線から学ぶ「疑似体験の時間(セミナー)」(40分) 15年の在宅介護を通して得た 幸せな看取りの時間とは

講師 D-M.F.P.(患者家族対話推進協会)代表 宮崎詩子



略歴 1976年東京生まれ。祖母の在宅家族介護を通し、家族内の意思形成や合意の難しさと重要性を痛感した経験から在宅ケアの意思決定の在り方を提唱。祖母の認知症介護のキーパーソンとして『在宅での楽しく文化的な介護の環境づくり』や『認知症との人間的なコミュニケーション方法』を模索した家族視点の在宅ケアの姿、家族の果たすべき役割を発信している。テレビ取材、専門誌からの取材、講演依頼など多数。

●東京都在宅療養推進会議委員、受療者医療保険学術連合会広報委員

■ 休憩 (10分)

■ 第二部 座談会

参加者、登壇者を交えた質問、交流 (60分)
他の介護施設、医療機関の方との
意見交換の時間



同一内容となります。
ご都合の良い日程でご参加ください。

Date	Time
5/17(土)	13:30~15:30
5/28(水)	15:30~17:30

参加費 (茶菓子付・資料代込) ¥3,000—

場 所 (株)メディパス大会議室(港区虎ノ門)

対象者 在宅療養に関心のある多職種の方
…相談員・ケアマネ・ヘルパー・施設管理者・
看護師・医師・薬剤師・歯科医師・歯科衛生士等

アクセス

東京メトロ
銀座線虎ノ門駅 下車4分
日比谷線神谷町駅 下車6分
千代田線霞が関駅 下車10分

〒105-0001
東京都港区
虎ノ門1-22-12
SVAX TSEビル7階
株)メディパス
(1FにKinko'sがあります)

TEL: 03-6205-7577

(担当:清水・野村)

FAX: 03-6205-7578



ご挨拶

このたび株式会社メディパスでは在宅ケア(医療・介護)における「人をつなぎ、仕組みを創り、生きるを支える」という自社の使命を推進するため、ご家族の介護経験を活かし各方面で活躍されているD-M.F.P.代表の宮崎詩子氏を当社専属講師として迎えることといたしました。

今回、弊社が日頃お世話になっております施設様を対象に、宮崎氏の講演と、宮崎氏を交えてリラックスしてご参加いただける座談会を企画いたしました。患者様、ともに歩まれるご家族の皆様そしてケア現場を支える専門スタッフの方々との間により良いコミュニケーションが実現するためのヒントを得る場としてぜひご活用ください。

株式会社メディパス 代表取締役社長 近藤 任

FAX 03-6205-7578

ダイアログ・カフェ #01 お申込書

	お名前	事業所名	職種	ご参加希望日
1				<input type="checkbox"/> 5/17(土) <input type="checkbox"/> 5/28(水)
2				<input type="checkbox"/> 5/17(土) <input type="checkbox"/> 5/28(水)
3				<input type="checkbox"/> 5/17(土) <input type="checkbox"/> 5/28(水)
4				<input type="checkbox"/> 5/17(土) <input type="checkbox"/> 5/28(水)
5				<input type="checkbox"/> 5/17(土) <input type="checkbox"/> 5/28(水)
6				<input type="checkbox"/> 5/17(土) <input type="checkbox"/> 5/28(水)

代表の方のご連絡先

お名前 _____ TEL (携帯可) _____

e-mail _____

ご住所 _____

- お申し込みは先着順とさせていただきます。
- お申し込み多数の場合はご希望に添えない場合がございます。
- 担当：清水・野村 (Tel 03-6205-7577)
- 折り返しお申込み受付完了のご連絡をメールにて申し上げます。

お得意様担当：

ご意見・ご要望